

## 非文字資料とはなにか～人類文化の記憶と記録～

### プログラムスケジュール

#### 第1日目 11月26日(土)

開会挨拶 山火 正則(神奈川大学学長)  
主催者挨拶 福田 アジオ(神奈川大学教授・COE拠点リーダー)

#### 基調講演

#### 「非文字資料から見る人類文化」

川田 順造(神奈川大学教授・COEサブリーダー)

#### セッション

#### 「記号と写真 19世紀後半メディアがもたらした衝撃」

<コーディネーター>北原 糸子(神奈川大学非常勤講師・COE事業推進担当者)

<パネリスト>

- ・原信田 實(国際浮世絵学会会員・2003年度COE共同研究員)  
「見えない都市 出来事を語る錦絵」
- ・セバスチャン・ドブソン(イギリス、写真歴史家)  
「写真による日本に対しての眼差しの形成」
- ・コンスタンチン・グーバー(ロシア、ロシア海軍博物館チーフアーティスト)  
「船乗り・画家・発明家 アレキサンドル・モジャイスキーの芸術的・科学的遺産」

<コメンテーター>

- ・渡辺 俊夫(イギリス、ロンドン芸術大学トランスナショナル・アート研究所教授)
- ・金子 隆一(東京都写真美術館学芸課専門調査員・COE共同研究員)

#### セッション

#### 「身体技法と祭祀芸能 祭祀者の動きと人形の動きから」

<コーディネーター>廣田 律子(神奈川大学教授・COE事業推進担当者)

<パネリスト>

- ・張 勁松(中国、湖南省民間文芸家協会副主席・湖南省文学芸術界連合会研究員)  
「中国瑶族の祭祀者の身体技法」
- ・田 耕旭(韓国、高麗大学教授・高麗大学民俗学研究所所長)  
「韓国の祭祀芸能における身体技法  
韓国仮面劇に登場する神的存在の身体技法」
- ・大谷津 早苗(昭和女子大学助教授)  
「人形に見る身体技法 日中の比較から」

<コメンテーター>

- ・康 保成(中国、中山大学教授)
- ・山口 建治(神奈川大学教授・COE事業推進担当者)



基調講演により4つのセッションへの問題提起がなされた。

#### 第2日目 11月27日(日)

開会の辞 西 和夫(神奈川大学教授・COE事業推進担当者)

#### セッション

#### 「民具と民俗技術」

<コーディネーター>河野 通明(神奈川大学教授・COE事業推進担当者)

<パネリスト>

- ・周星(愛知大学教授)  
「中国民俗学の物質文化研究は日本の民具学から何を学ぶべきか」
- ・尹 紹亭(中国、雲南大学教授・人類学博物館館長)  
「中国の犁の起源・形態とその分布」
- ・高 光敏(韓国、済州大学博物館学芸研究員)  
「排泄の民俗と民具 済州島・韓半島・舟山島の比較」

<コメンテーター>

- ・近藤 雅樹(国立民族学博物館教授)
- ・安室 知(国立歴史民俗博物館助教授)

#### セッション

#### 「非文字資料の情報化と教育」

<コーディネーター>的場 昭弘(神奈川大学教授・COE共同研究員)

<パネリスト>

- ・白 庚勝(中国、中国民間文芸家協会常務副主席)  
「中国民間文化保護の近影」
- ・ジュヌヴィエーヴ・ガロ(フランス、パリ国立文化遺産研究所校長)  
「フランスにおける文化遺産のプロたち 新しい焦点、新しい挑戦」
- ・能登 正人(神奈川大学助教授・COE共同研究員)  
「オントロジー理論に基づく非文字資料のデータ化可能性の検討」

<コメンテーター>

- ・アラン＝マルク・リュ(フランス、リヨン第3大学教授)
- ・橘川 俊忠(神奈川大学教授・COE事業推進担当者)

#### 総合討論

<コーディネーター>佐野 賢治(神奈川大学教授・COE事業推進担当者)

各セッションの報告/討論/まとめ

閉会挨拶 中村 政則(神奈川大学教授・COEサブリーダー)



各パネリストは多くの資料を提示しながら各々のテーマを論じた。